



千葉県議会議員(千葉市中央区)

はじめ
あみなか 肇

介護特集(11月)号

明日の県政を変える!

〒260-0805 千葉市中央区宮崎町663-2-604

プロフィール...

1972年千葉県銚子市生まれ 39歳

学歴

慶應義塾大学法学部政治学科卒業
政策研究大学院大学政策研究科修了

職歴

千葉市職員・総務省事務官

現在

県議会総合企画水道常任委員会委員

政務調査
レポート



<http://aminaka-hajime.net>

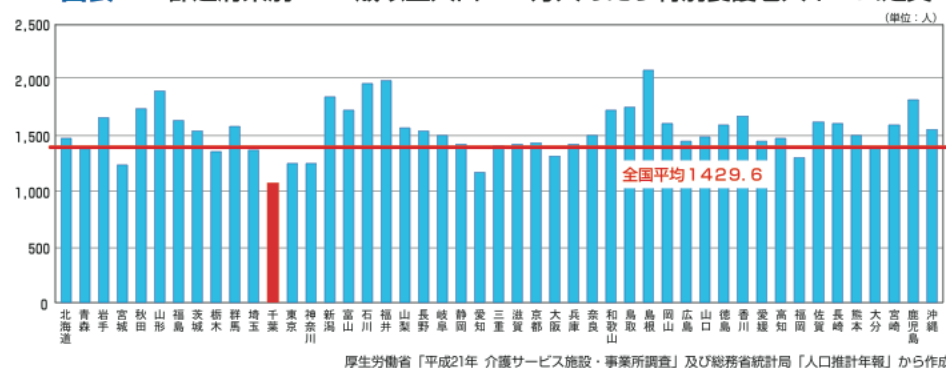
少ない千葉県の介護施設！ 高齢化に伴い、介護施設の確保・ 在宅介護環境の整備が今後の課題

千葉県の介護サービスの状況を見ると、全国的に見て低い水準になっており、県内でも地域によって大きな差があることがわかります。介護サービスが低水準の千葉県にあって、さらにその千葉県の中でも低水準の地域となれば、日本でも屈指の介護サービス過疎地に該当するかもしれません。

高齢化が進むほど介護に対するニーズは高まっていくものと考えられますが、今後全国2位のスピードで高齢化する千葉県にとっては介護資源の確保が今後の重要な課題となります。

● 全国ワースト1位の千葉県の特別養護老人ホーム定員

図表1 都道府県別 65歳以上人口10万人あたり特別養護老人ホーム定員

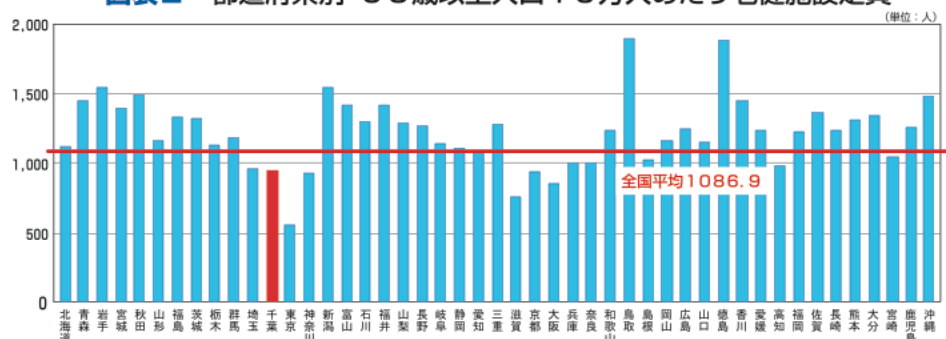


厚生労働省「平成21年 介護サービス施設・事業所調査」及び総務省統計局「人口推計年報」から作成

図表1は都道府県別の65歳以上人口10万人あたりの介護老人福祉施設(以下では、「特別養護老人ホーム」とします。)定員を示したものです。すでに広く知られていることですが、千葉県の65歳以上人口あたり特別養護老人ホーム定員は47都道府県中でも最も少なく、ワースト1位となっています。

具体的にみると、65歳以上人口10万人あたりの特別養護老人ホーム定員が最も多い鳥根県では2083.7人であるところ、千葉県ではそのおよそ半分の1063.1人となっています。そして、全国平均では1429.6人となっています。

図表2 都道府県別 65歳以上人口10万人あたり老健施設定員

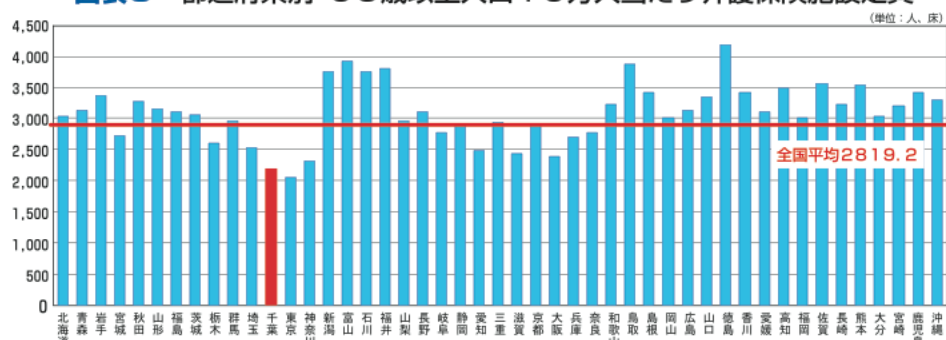


厚生労働省「平成21年 介護サービス施設・事業所調査」及び総務省統計局「人口推計年報」から作成

図表2は都道府県別の65歳以上人口10万人あたりの介護老人保健施設(以下「老健施設」とします。)定員数を示したものです。千葉県の65歳以上人口あたり老健施設定員は47都道府県中でもかなり少なく、ワースト5位となっています。

具体的にみると、65歳以上人口10万人あたりの老健施設定員が最も多い鳥取県では1888.9人であるところ、千葉県ではその半分以上の932.8人となっています。そして、全国平均では1086.9人となっています。

図表3 都道府県別 65歳以上人口10万人当たり介護保険施設定員



厚生労働省「平成21年 介護サービス施設・事業所調査」及び総務省統計局「人口推計年報」から作成

政務調査に関する広聴会のご案内

11月12日(土) 蘇我勤労市民プラザ 第7講習室

(千葉市中央区今井1-14-43)

開催時間: 10:00~11:00 定員: 20名 会費: 無料

ホームページでもご意見を受け付けております。

あみなか 肇

検索

◆県政に対する皆さまのご意見をお寄せ下さい。

図表3は都道府県別の65歳以上人口10万人あたりの介護保険施設定員(特別養護老人ホーム定員+老健施設定員+介護療養型医療施設病床)を示したものです。千葉県の65歳以上人口あたり介護保険施設定員は47都道府県中でも極めて少なく、ワースト2位となっています。

具体的に見てみると、65歳以上人口10万人あたりの介護保険施設定員が最も多い徳島県では4171.9人であるところ、千葉県ではそのおよそ半分の2167.0人となっています。そして、全国平均では2819.2人となっています。

● 偏在する県内の介護保険施設定員

図表4 千葉県の高齢者保健福祉圏域



図表5 千葉県の高齢者保健福祉圏域の概要

高齢者保健福祉圏域	人口(人)	面積(km ²)	構成市町村
千葉	955,022	272.08	千葉市
東葛南部	1,713,054	253.84	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、鎌ヶ谷市、浦安市
東葛北部	1,346,739	358.24	松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市
印旛	719,158	691.80	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、印旛郡酒々井町、栄町
香取海浜	308,601	716.60	銚子市、旭市、匝瑿市、香取市、香取郡神崎町、多古町、東庄町
山武長生奥隅	467,762	1,161.32	茂原市、東金市、勝浦市、山武市、いすみ市、山武郡大網白里町、九十九里町、芝山町、横芝光町、長生郡一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、夷隅郡大多喜町、御宿町
安房	140,297	576.89	館山市、鴨川市、南房総市、安房郡鋸南町
君津	331,173	757.83	木更津市、君津市、富浦市、袖ヶ浦市
市原	284,802	368.20	市原市
計	6,266,608	5,156.60	36市17町1村

資料:平成22年度千葉県統計、町丁別人口調査(千葉県)平成21年全国都道府県市区町村別国勢調査(国土地理院)

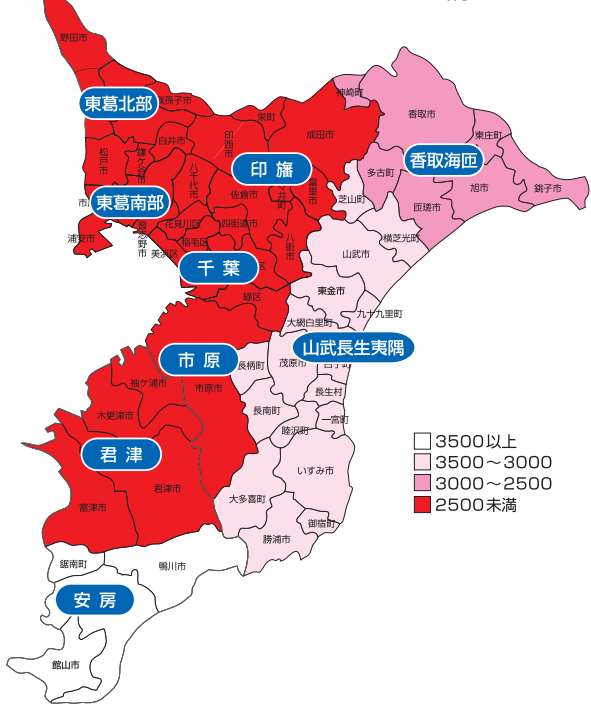
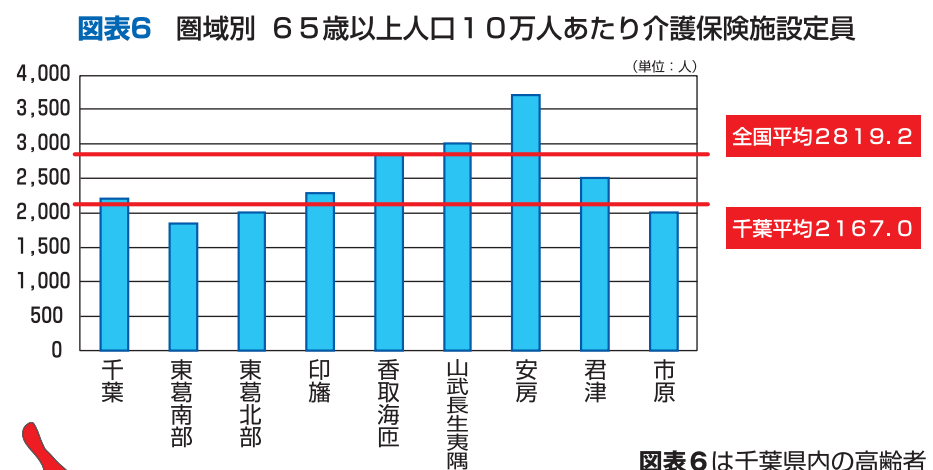
以下では、千葉県内の介護保険施設の状況を「高齢者保健福祉圏域」ごとにみていきます。図表4及び図表5は千葉県の高齢者保健福祉圏域を図示したものとその概要です。高齢者保健福祉圏域は、高齢者の保健福祉サービスにかかわる広域調整のため、法の規定により、県が定める区域とされています。

そして、この区域の設定にあたっては、県では、保健・医療・福祉が密接に連携していることから、「高齢者保健福祉圏域」と「二次保健医療圏」は一致させて設定することとしています。

なお、保健医療圏について概説すると、一次保健医療圏は初期的な疾病及び通院程度の疾病などへの対応として主として市町村を、二次医療圏は一般的な入院を要する疾病などへの対応として県内を生活圏で分割したブロックを、三次保健医療圏は専門的・高度な医療への対応として県全体を対象としています。

(裏面につづく)

千葉県は高齢者保健福祉圏域として9のブロックに分かれており、そのブロック分けは上記の図表のとおりとなっています。



図表6は千葉県内の高齢者保健福祉圏域ごとの、65歳以上人口10万人あたり介護保険施設定員（特別養護老人ホーム定員＋老健施設定員＋介護療養型医療施設病床）の状況を示したものです。

千葉、東葛南部、東葛北部及び市原圏域など都市部で定員が少なく、安房及び山武長生夷隅圏域で定員が多いことがわかります。

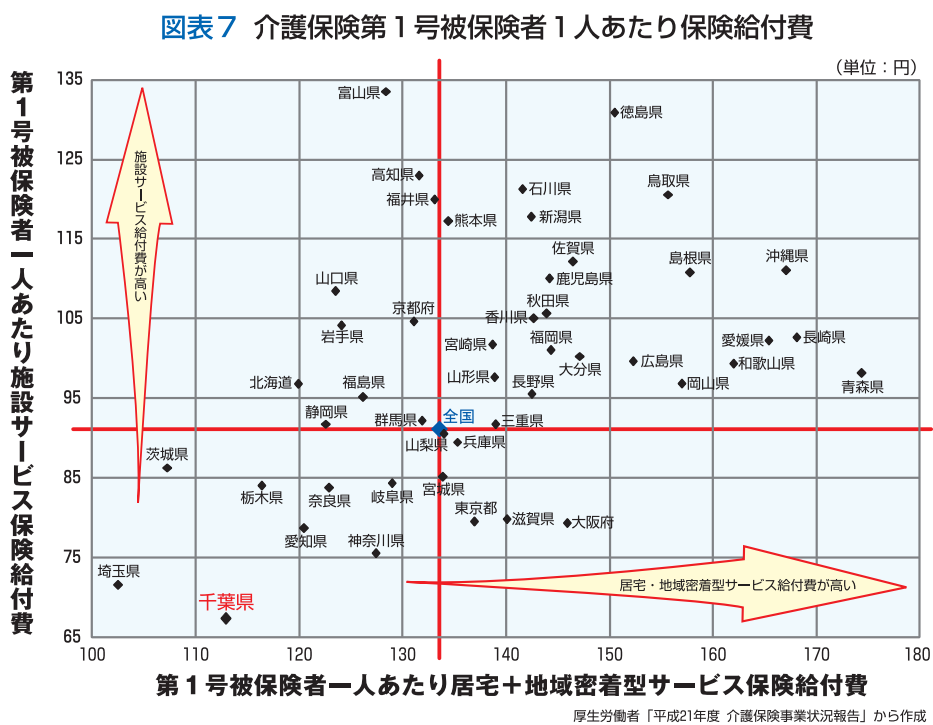
具体的にみると、65歳以上人口10万人あたりの介護保険施設定員が最も多い安房圏域では3691.3人であるところ、東葛南部圏域ではそのおよそ半分の1835.9人となっています。そして、千葉県

の平均では2167.0人となっています。

このように、千葉県内でも圏域によって介護保険施設定員に大きな差があることがわかります。

また、核家族化等による介護機能の弱体化が進んでいること、そして介護保険施設等の供給量が少ないことから、要介護者は都市部から周辺部へと移動していることが推測されます。

施設介護・在宅介護ともに少ない千葉県の介護



図表7は介護保険第1号被保険者（65歳以上の被保険者）1人あたりの保険給付費を、都道府県別、施設サービス給付費別及び居宅・地域密着サービス給付費別にみたものです。

千葉県は、施設サービス給付費は全国で最も少なく、居宅・地域密着サービス給付費は3番目に少ないことがわかります。全国的に見ても、埼玉県とともに介護保険第1号被保険者1人あたりの保険給付費が少ないことがわかります。

具体的にみると、全国平均では、施設サービス給付費及び居宅・地域密着サービス給付費がそれぞれ、91.2円、133.5円であるところ、千葉県ではそれぞれ67.3円、112.8円となっています。

激増する千葉県の要介護者

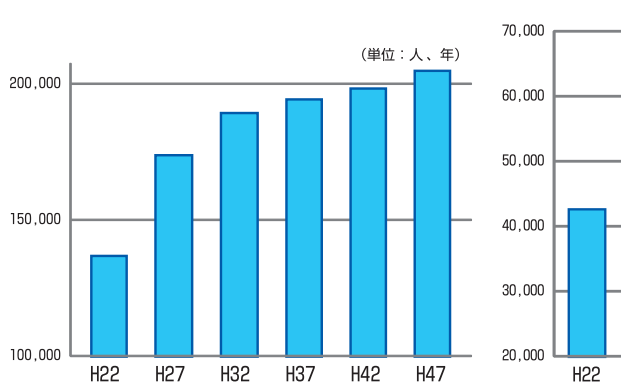
図表8 千葉県の要介護（要支援）高齢者数の将来推計

	H22年度	H27年度	H32年度	H37年度	H42年度	H47年度
65歳以上人口	1,320,389	1,596,771	1,739,284	1,782,134	1,818,530	1,879,678
要支援1・2 要介護1～5	179,573	228,338	248,718	254,845	260,050	268,794
出現率	13.6%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%
うち要介護4・5	42,738	54,345	59,195	60,653	61,892	63,973
出現率	23.8%	23.8%	23.8%	23.8%	23.8%	23.8%

千葉県「第4期介護保険事業運営期間における保険料等の調査」の各年度の65歳以上人口に占める要介護高齢者の出現率（平成26年度以降は当該年度の出現率を使用）等を使用し、国立社会保障・人口問題研究所将来人口推計から作成

25年間では、要介護高齢者は9万人近く増加し約27万人、うち要介護4・5の高齢者は、2万人以上増加し約6万4000人に達することが推測されます。

図表9 千葉県の要介護（要支援）高齢者数の将来推計



千葉県「第4期介護保険事業運営期間における保険料等の調査」の各年度の65歳以上人口に占める要介護高齢者の出現率（平成26年度以降は当該年度の出現率を使用）等を使用し、国立社会保障・人口問題研究所将来人口推計から作成

図表9は千葉県の要介護高齢者数の将来推計を棒グラフで示したものです。今後10年間の増加が著しいことが推察されます。

図表10は千葉県の要介護度4・5の高齢者数の将来推計を棒グラフで示したものです。図表9と同様に今後10年間の増加が著しいことが推察されます。

図表9及び10から千葉県の介護サービスの充実は今後10年間が大変重要であることが推察されます。

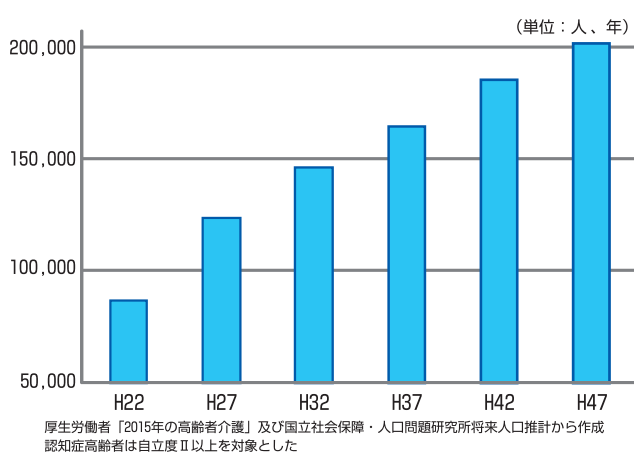
増加する認知症高齢者

図表11 千葉県の認知症高齢者数の将来推計

	H22年度	H27年度	H32年度	H37年度	H42年度	H47年度
65歳以上人口	1,320,389	1,596,771	1,739,284	1,782,134	1,818,530	1,879,678
認知症高齢者数	95,068	121,355	146,100	165,738	185,490	201,126
出現率	7.2%	7.6%	8.4%	9.3%	10.2%	10.7%

厚生労働省「2015年の高齢者介護」及び国立社会保障・人口問題研究所将来人口推計から作成。認知症高齢者は自立度Ⅱ以上を対象とした

図表12 千葉県の認知症高齢者数の将来推計



厚生労働省「2015年の高齢者介護」及び国立社会保障・人口問題研究所将来人口推計から作成。認知症高齢者は自立度Ⅱ以上を対象とした

図表11・12は千葉県の認知症高齢者数を将来推計したものです。今後10年間で、認知症高齢者は5万人以上増加し14万6000人に達することが推測されます。同様に今後25年間では10万人以上増加し20万人に達することが推測されます。

これまでみてきたように、千葉県の介護にとっては今後の10年間でとても重要になります。少子高齢化の進展する中、介護サービスの確保に実効性のある政策を展開し、介護サービス供給体制の底上げを図るとともに、県内における介護サービス供給体制の著しい地域的偏在をなくすよう求めています。

また、千葉県は介護保険施設等の定員数が少なく、今後、当該施設の充実・整備をしていく必要があります。しかし、施設整備にはコスト面からの限界があることから、在宅での介護の充実も同時に図る必要があります。さらに、認知症高齢者の増加、介護人材の確保・養成、医療・福祉との連携など介護分野における課題は山積しており、今後の適切な対応が求められています。

私たちは、安心して老後を過ごすことができるような千葉県を共につくっていかなくてはなりません。